

# 平成29年度全国学力・学習状況調査 学力・学習状況充実プラン 【小学校版】

1	小学校の授業改善に向けて	
(1)	正答数分布の傾向	1
(2)	質問紙調査の傾向	2
(3)	課題と改善の方向性	5
2	小学校国語の課題解決に向けて	
(1)	国語の傾向	6
(2)	国語各設問の内容・結果と対応する学年等	7
(3)	国語の課題と改善の方向性	8
3	小学校算数の課題解決に向けて	
(1)	算数の傾向	10
(2)	算数各設問の内容・結果と対応する学年等	11
(3)	算数の課題と改善の方向性	13
4	授業等アドバイスシート	
(1)	授業等アドバイスシート小学校共通(①～⑥)	14
(2)	授業アドバイスシート小学校国語(①～⑥)	27
(3)	授業アドバイスシート小学校算数(①～⑥)	41

※ 授業改善のための一例である。

愛知県教育委員会義務教育課

平成29年11月



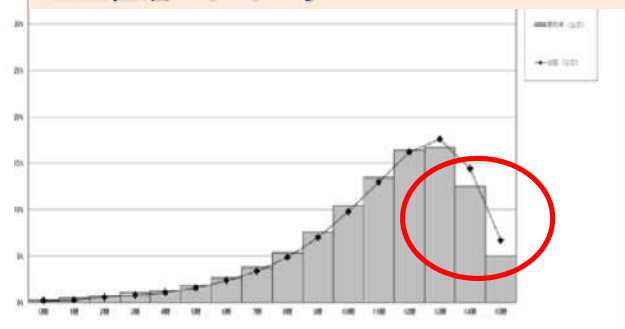
# 1 小学校の授業改善に向けて

## (1) 正答数分布の傾向

棒グラフ・・・愛知県  
折れ線グラフ・・・全国

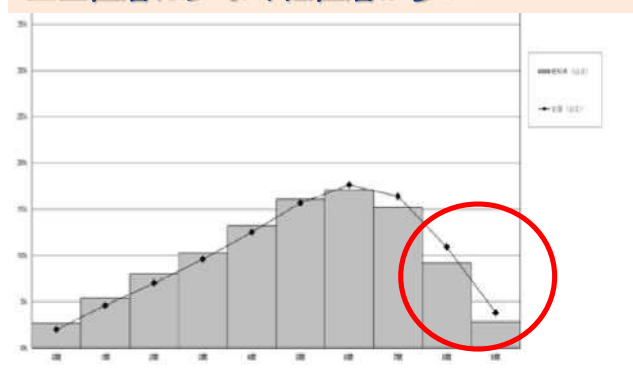
### 小学校国語A（知識・技能）

○基礎・基本が定着しつつある。  
△上位層が少ない。



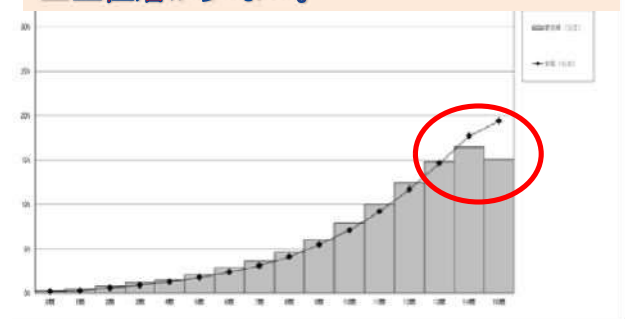
### 小学校国語B（活用）

△上位層は少なく低位層が多い



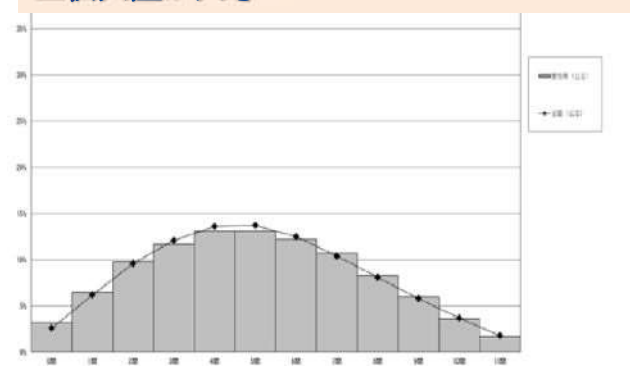
### 小学校算数A（知識・技能）

○基礎・基本が定着しつつある。  
△上位層が少ない。



### 小学校算数B（活用）

△個人差が大きい



分布グラフの赤実線で囲んだ箇所を見ると、国語A・B、算数Aで、全国と比較して上位層が少なく課題があることが分かります。この課題を解決するためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、アクティブ・ラーニングの視点による授業改善を進め、思考力・判断力・表現力等を高めていくことが大切です。

また、本年度は低位層も多い傾向があります。そこで、基礎・基本の定着を図るために、「めあて」を明確にして学習の見通しをもたせ、「振り返り」をしっかりと行うことが大切です。

これまでの調査で明確になった課題や子供たちのつまづくポイントを分析し、日々の授業の中で取り上げ重点的に指導することで、全体の底上げを図る必要があります。

## (2) 質問紙調査の傾向

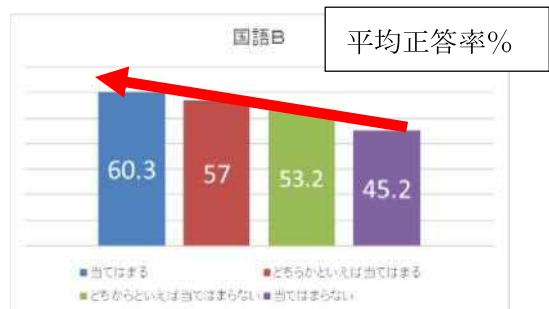
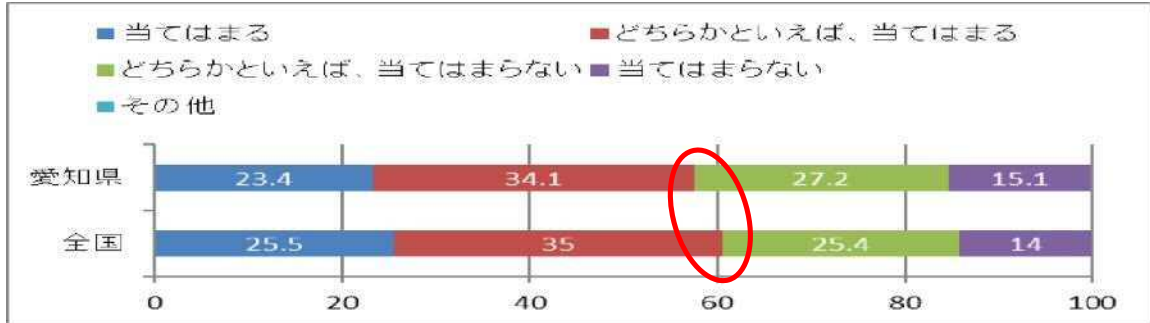
### ① 国語に対する関心意欲と学力の関係

学習に対する関心・意欲・態度に係る指数※（県/国）

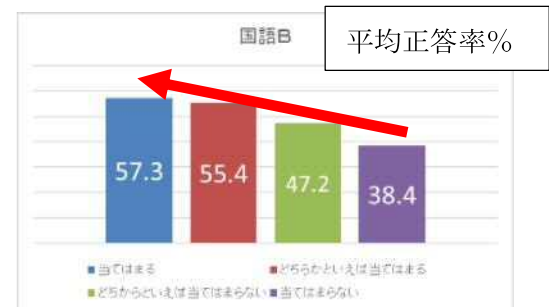
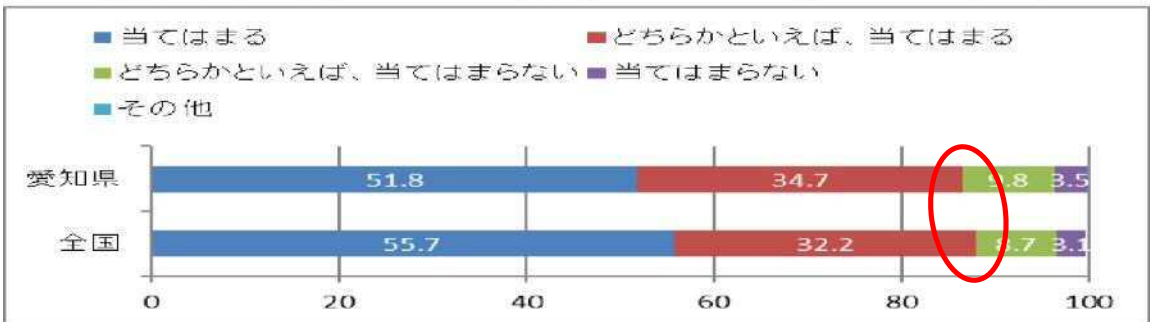
4.7 / 5.0

質問 国語の勉強は好きですか

（※ 文部科学省が、質問紙の関心・意欲・態度に関わる質問を用い、全国を5.0として算出した数値）

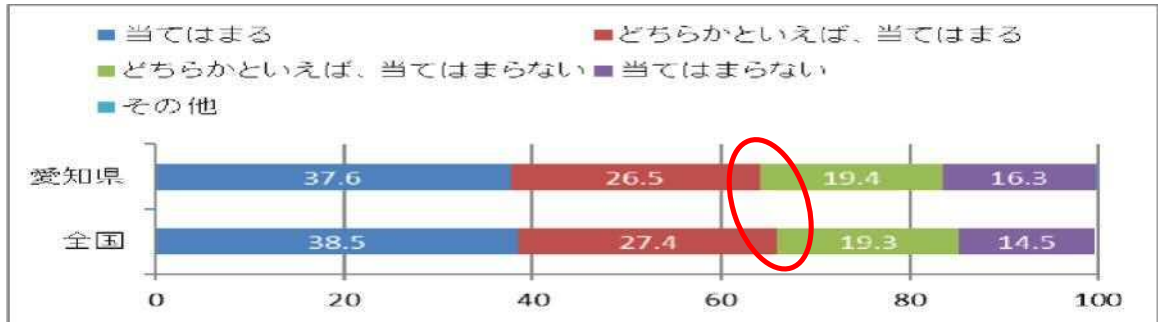


質問 国語の授業で学習したことは将来社会に出たとき役に立つと思いますか

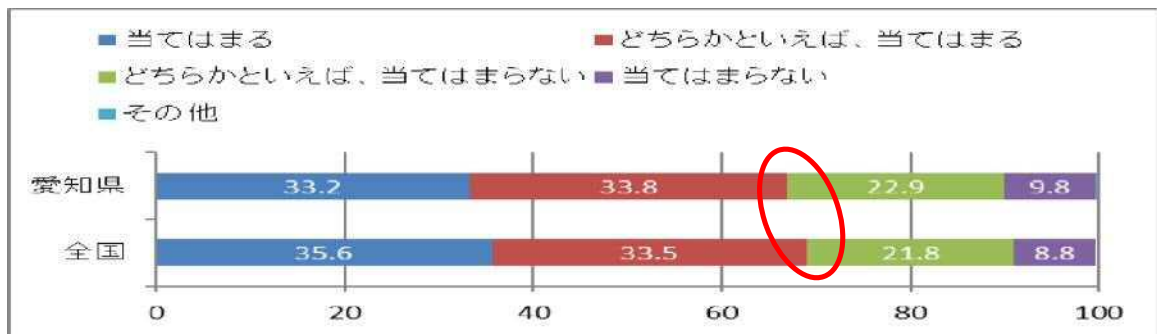


④ 算数に対する関心意欲と学力の関係

質問 算数の勉強は好きですか



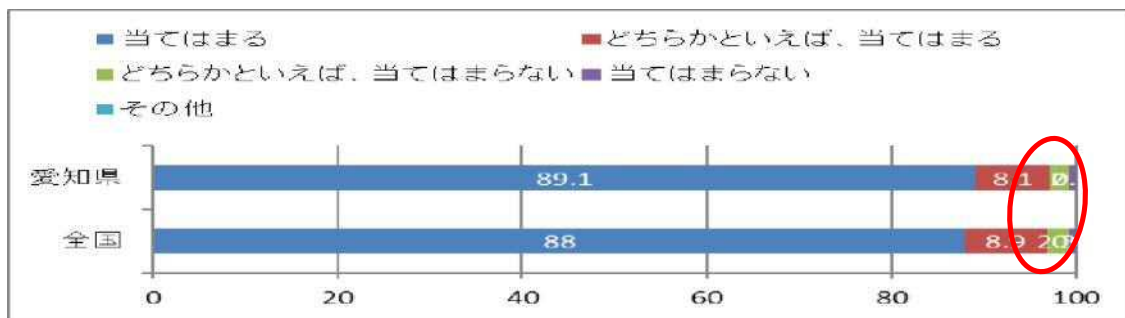
質問 算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないかと考えますか



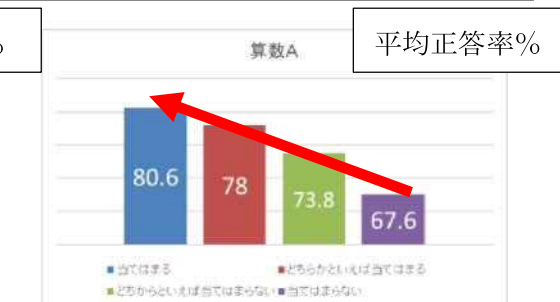
質問紙調査において、関心意欲に関する質問で、肯定的に回答した児童の割合は、国語・算数ともに全国と比較して低いという結果です。どちらの教科も興味関心が高い児童の方が平均正答率が高いという傾向も見られました。授業の中で、「分かった」「できるようになった」と実感させ、学習に対する関心意欲を高めましょう。

### ③ 家庭学習と学力の関係

質問 学校の宿題をしていますか



質問 自分で計画を立てて、勉強していますか



質問紙調査によると、「家で学校の宿題をしている」という質問に対して、肯定的に回答した児童は9割を超え、全国との比較においても高い傾向となっています。しかし、「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合は全国と比較して低いという傾向が見られました。本県の児童は、与えられた課題に対しては、真面目にきちんと取り組めるものの、自ら考えて予習・復習を計画的に行っている児童は全国と比べて少ないと考えられます。また、学力との相関関係でも、計画的に学習をしている児童は、学力が高いという傾向がありますので、学校と家庭の連携を意識した授業改善に取り組むことが大切です。

### (3) 課題と改善の方向性

全国学力・学習状況調査の分析から改善のための方向性をまとめました。以下のポイントを参考にして、各市町村・学校における課題の改善策を具体的に立案しましょう。また、別添の授業等アドバイスシートも活用して、授業改善を図りましょう。

#### 1 「めあて」「振り返り」を意識して学習を進めよう

低位層が多い傾向にある。



「めあて」を明確にして学習の見通しをもたせ、「振り返り」をしっかりと行うことで学習の基礎・基本の定着を図ることが大切です。

#### 授業等アドバイスシート

小学校共通① 参照  
＜稲沢市（学力定着実践研究地区）の実践＞  
「学びのスタンダード」の確立  
「分かる授業づくりに向けての工夫」

#### 2 アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善をしよう

国語A・B、算数Aについて、全国と比較して上位層の数が少ない。



アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力等を高めていくことが大切です。

#### 授業等アドバイスシート

小学校共通② 参照  
＜常滑市（アクティブ・ラーニング研究推進地区）の実践＞  
「学びの土台を基にした対話的な学習」の実施  
＜西尾市（アクティブ・ラーニング研究推進地区）の実践＞  
「学び合う仲間を支える学級づくり」

#### 3 学校と家庭の連携を意識した取組を行おう

「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合は低い。



子供が予習・復習を計画的に行う習慣をつけるよう家庭と連携した取組を行うことが大切です。

#### 授業等アドバイスシート

小学校共通③ 参照  
＜知立市（学力定着実践研究地区）の実践＞  
「家庭学習のススメ」  
「発達段階による習得事項」

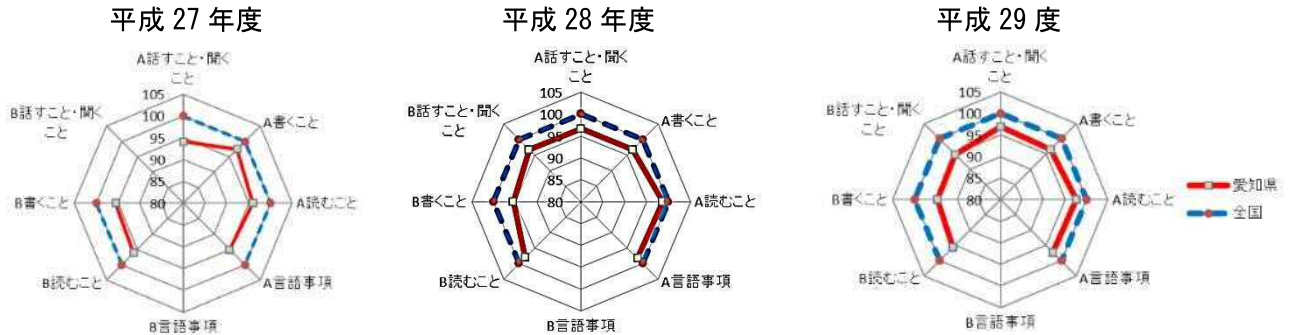
## 2 小学校国語の課題解決に向けて

(1) 国語の傾向（県の平均正答率は整数値で表示）

平均正答率 A問題:県 73% (国 74.8%) B問題:県 55% (国 57.5%)

ア 領域・評価観点・解答形式別で見た傾向（全国との比較から）

＜全国を基準(100)とした比較＞



※ 「言語事項」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

- 「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」設問の正答率が高い。
- △ A問題、B問題ともに全国より低く、昨年度より差が大きくなった。
- △ A問題の漢字の読み書きにおいて、6問中3問が2ポイント以上低い。B問題の「話すこと、聞くこと」が全国と比べ3.3ポイント以上低く、記述式でも全国より3.4ポイント低く、課題がある。

＜領域等・評価の観点・問題形式ごとの全国の平均正答率との差＞(%)

年度・調査区分		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		A知識	B活用	A知識	B知識	A活用	B知識	A知識	B活用
教科全体		-2.4	-3.1	-3.4	-2.4	-1.5	-1.8		
領域等	話すこと・聞くこと	-1.9	-4.0	-3.1		-2.7	-1.7	-2.1	-3.3
	書くこと	-2.1	-5.0	-2.1	-2.7	-2.4	-2.4	-2.1	-2.9
	読むこと	-3.2	-2.6	-2.2	-2.6	-1.0	-1.4	-1.7	-2.1
	言語事項	-2.3	-0.6	-3.8		-1.2		-2.1	
評価の観点	① 国語への関心・意欲・態度		-5.0		-4.0		-2.8		-3.4
	② 話す・聞く能力	-1.9	-4.0	-3.1		-2.7	-1.7	-2.1	-3.3
	③ 書く能力	-2.1	-5.0	-2.1	-2.7	-2.4	-2.4	-2.1	-2.9
	④ 読む能力	-3.2	-2.6	-2.2	-2.6	-1.0	-1.4	-1.7	-2.1
	⑤ 言語についての知識・理解・技能	-2.3	-0.6	-3.8		-1.2		-2.1	
問題形式	選択式	-2.6	-2.0	-2.8	-1.2	-1.6	-1.2	-2.0	-2.4
	短答式	-2.3	-2.5	-4.1	-1.0	-1.4		-2.1	-0.9
	記述式		-5.0		-4.0		-2.8		-3.4

イ 無解答率から見た傾向（正答率が60%未満で、無解答率が10%以上の設問）(%)

設問番号	観点	形式	正答率	無解答率	設問番号	観点	形式	正答率	無解答率
A 7 (1)	⑤	短答	36.1	14.0	B 3 三	①③④	記述	41.4	22.5

無解答率の平均値はA問題 3.7%（全国 2.8%、28年度の愛知は 6.1%）、B問題 5.3%（全国 4.3%、28年度の愛知は 5.6%）であったが、昨年度からA問題、B問題共に改善の傾向が見られている。正答率が60%未満で無解答率が10%以上の設問数は2問で、記述式の設問番号B 3 三が無解答率 22.5%（全国 19.4%）であった。

(2) 国語各設問の内容・結果と対応する学年等

調査区分	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				正答率(%)	愛知   全国	対応する教科書のページ
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項			
国語 A	1	学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する	互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う	3・4オ				67.1	-2.1	光村 ◎ P.108 ◎ P.34 東書 ◎ P.36 ◎ P.42
	2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く		5・6ウ			79.5	-0.2	光村 ◎ P.88,104 ◎ P.190 東書 ◎ P.194 ◎ P.28,118
	2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く		5・6イ			37.5	-4.0	光村 ◎ P.88 ◎ P.78,92 東書 ◎ P.132,194 ◎ P.90,118,206
	3	学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する	目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読む			3・4イ		72.0	-2.4	光村 ◎ P.40 P.30 ◎ P.34 東書 ◎ P.37,103 下95 ◎ P.33,97,101
	4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える			5・6エ	3・4(1)ア(ア)	78.0	-1.4	光村 ◎ P.20,94,114,188,200 ◎ P.14,74,178 ◎ P.51 P.44 ◎ P.52 P.48
	4二	グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する						55.6	-1.4	東書 ◎ P.47,111,219 ◎ P.51,103 ◎ P.82 ◎ P.96
	5ア	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(三度目の正直)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる				3・4(1)ア(イ)	88.4	-1.6	光村 ◎ P.96 ◎ P.32
	5イ	ことわざの使い方の例として適切なものを選択する(もちはもち屋)						81.1	-2.5	東書 ◎ P.42,88 ◎ P.76
	6	【「外郎売」の一部】を音読して気が付いたことの説明として適切なものを選択する	古文における言葉の響きやリズムを楽しむながら読む			5・6(1)ア(ア)		68.5	-2.6	光村 ◎ P.34,86,136,170,198 ◎ P.154,176 東書 ◎ P.104 ◎ P.96
	7(6)	漢字の読み書き	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む・書く				5・6(1)ウ(ア)			
国語 B	1一	スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する	動画を見る目的を捉えることを通じて、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す		5・6イ			73.2	-4.0	光村 ◎ P.190 ◎ P.215
	1二	グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える					68.3	-0.9	東書 ◎ P.42,212 ◎ P.44,186
	1三	折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く	目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す	5・6イ	5・6ウ			43.4	-5.0	光村 ◎ P.190 ◎ P.215 ◎ P.88,104 ◎ P.190 東書 ◎ P.42,212 ◎ P.44,186 ◎ P.194 ◎ P.28,118
	2一	【緑のカーテン作りへの協力をお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する	目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える		5・6イ			67.7	-3.1	光村 ◎ P.88 ◎ P.78,92 東書 ◎ P.132,194 ◎ P.90,118,206
	2二	【友達への考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、【「緑のカーテンを始めよう」の一部】から選択する	目的や意図に応じ、引用して書く		5・6エ			70.2	-0.7	光村 ◎ P.149 東書 ◎ P.98 ◎ P.90
	2三	「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」の【イ】に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く		5・6ウ			30.0	-3.0	光村 ◎ P.88,104 ◎ P.190 東書 ◎ P.194 ◎ P.28,118
	3一	「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、【A】に当てはまる言葉として適切なものを選択する	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える			5・6エ		74.8	-1.1	光村 ◎ P.20,94,114,188,200 ◎ P.14,74,178 東書 ◎ P.47,111,219 ◎ P.51,103
	3二	「きつねの写真」を読んだあとの話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える			5・6オ		25.1	-2.9	光村 ◎ P.44,138, ◎ P.34,200,220 東書 ◎ P.132,194 ◎ P.90,118,206
	3三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる		5・6ウ	5・6エ		41.4	-2.3	光村 ◎ P.88,104 ◎ P.190 ◎ P.20,94,114,188,200 ◎ P.14,74,178 東書 ◎ P.194 ◎ P.28,118 ◎ P.47,111,219 ◎ P.51,103

※ 設問と関係の深い題材の開始ページ(○数字は学年)

※ 網掛けは、全国との差が2ポイント以上、濃い網掛けは、5ポイント以上ある設問



### (3) 国語の課題と改善の方向性

全国学力・学習状況調査の分析から改善のための方向性をまとめました。以下のポイント  
を参考にして、各市町村・学校における課題の改善策を具体的に立案しましょう。また、別  
添の授業アドバイスシート等も活用して、授業改善を図りましょう。

#### 1 日常で活用する力をつけられる漢字学習の取組を工夫しよう

漢字の書き取りについて、引き続き課題が見られた。平均正答率を全国と比較すると「参加たいしょう」の設問が－5.9ポイント、「おいてある」の設問が－3.3ポイントなど差が大きい。



学習した漢字を字形に注意しながら、繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使うことができるように指導しましょう。

#### 授業アドバイスシート

##### 小学校国語① 参照

##### <取組例>

- ・「同音異義語カードづくり」
- ・「ひらがなおしらせを直そう！」
- ・「変換ミス直そう！」

#### 2 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く活動を設定しよう

国語Bの設問2三「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く」の平均正答率が30.0%と低く、全国と比較して－3.0ポイントと差が大きい。



- ◎ 必要な事柄や情報を整理し、簡単に書く活動を設定しよう。
- ◎ 新聞やリーフレットなど文章の種類や特徴を踏まえ、内容や文章の量などを考えさせる学習活動を工夫しよう。

#### 授業アドバイスシート

##### 小学校国語② 参照

##### <取組例>

- ・「係活動の協力をお願いするポスターをつくろう」

### 3 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめよう

国語Bの設問3三「物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる」の平均正答率が41.4%と低く、全国と比較して-2.3ポイントと差が大きい。



- ① 物語の構造や中心人物の変化、主題といった物語の魅力に着目できるように指導しましょう。
- ② 自分の考えがどの叙述に基づいているのかを明らかにしながら交流する活動の場を設定しましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校国語③ 参照

<取組例>

- ・「心に響いた物語を推薦しよう」

### 4 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話す活動を取り入れよう

国語Bの設問1三「目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す」の平均正答率が43.4%と低く、全国と比較して-5.0ポイントと差が大きい。



- ① 目的や意図を明確できるように指導しましょう。
- ② 子供たちが自分の考えを伝える活動を設定しましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校国語④ 参照

<取組例>

- ・「外国の方に折り紙のよさを紹介しよう」

### 5 「手紙を書く」活動を設定しよう

国語Aの設問2二「手紙の構成を理解し、後付けを書く」の平均正答率は、37.5%と低く、全国と比較して-4.0ポイントと差が大きい。



- ① 手紙の構成や内容を吟味し、形式を整えて記述することが、相手に対する感謝の思いや敬意を表すことにつながるということを指導しましょう。
- ② 手紙を書く学習活動を、国語科のみならず、各教科等においても意図的、計画的に設定しましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校国語⑤ 参照

<取組例>

- ・「お礼の手紙を書こう」

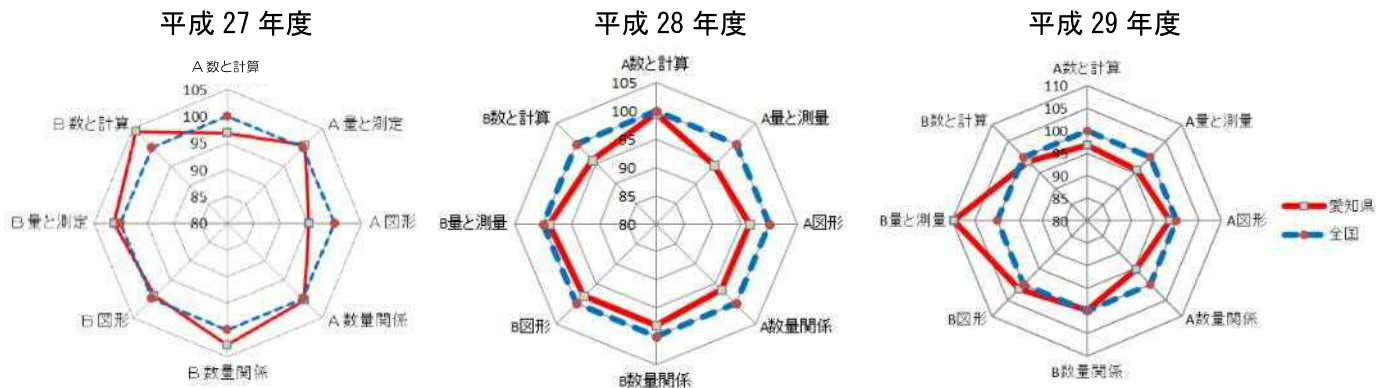
### 3 小学校算数の課題解決に向けて

(1) 算数の傾向（県の平均正答率は整数値で表示）

平均正答率 A問題:県 76% (国 78.6%) B問題:県 46% (国 45.9%)

ア 領域・評価観点・解答形式別で見た傾向（全国との比較から）

<全国を基準（100）とした比較>



- A問題の「図形」において、全国との差が縮まり2年連続で改善が見られる。
- B問題の「量と測定」において、全国より4.6ポイント高い。
- △ A問題において、すべての問題で無回答率が全国を上回っている。
- △ A問題の「数量関係」は全国を3.7ポイント下回っており、課題がある。
- △ B問題の「目的に適したグラフを選ぶ」問題で、正答率が25.7%で、全国より3.6ポイント低く、課題がある。

<領域等・評価の観点・問題形式ごとの全国平均正答率との差> (%)

全国の平均正答率との差 (%)		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用
教科全体の正答率		-2.3	-0.8	-1.8	0.7	-1.6	-0.8		
領域	① 数と計算	-1.7	-0.5	-2.6	1.8	-0.3	-1.8	-2.6	-0.8
	② 量と測定	-2.1	-1.5	0.4	0.5	-4.2	-0.5	-2.9	4.6
	③ 図形	-2.0	-0.4	-3.0	-0.3	-2.6	-0.7	-1.2	0.2
	④ 数量関係	-4.4	-0.6	0.3	1.2	-2.5	-0.9	-3.7	-0.1
評価観点	数学的な考え方		-0.9		1.3		-0.6		0.0
	数量や図形についての表現・処理	-2.3	-0.1	-0.4	-0.3	-0.9	-1.8	-2.8	
	数量や図形についての知識・理解	-2.4	-1.6	-2.8	-1.1	-1.9	-1.0	-2.3	-1.4
問題形式	選択式	-2.3	-1.3	-3.2	0.3	-2.4	-0.7	-2.7	-1.3
	短答式	-2.3	0.0	-1.1	0.4	-1.3	-1.3	-2.5	-0.4
	記述式		-1.1		1.2		-0.6		0.6

イ 無解答率から見た傾向（平均正答率が60%未満で、無解答率が10%以上の設問） (%)

設問番号	領域	形式	正答率	無解答率	設問番号	領域	形式	正答率	無解答率
B 1 (3)	①②	記述	36.0	17.9	B 3 (2)	①②	記述	34.4	10.6

無解答率の平均値はA問題 2.2%（全国 1.6%、28年度の愛知は 2.3%）、B問題 7.2%（全国 6.4%、28年度の愛知は 8.2%）であった。平均正答率が60%未満で無解答率が10%以上の設問数は2問（昨年4問）で、全て記述式の問題であった。

(2) 算数各設問の内容・結果と対応する学年等

【A問題】

調査区分	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率 (%)	愛知一全国	対応する教科書の学年とページ
				数と計算	量と測定	図形	数量関係			
算数A	1 (1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	3A (3)イ			5D (1)ア	96.5	-0.4	◎ 下P.19 ◎ P.208
	1 (2)	買ったリボンの長さ、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる	5A (3)ア				61.4	-2.5	◎ P.37
	1 (3)	$60 \times 0.4$ を、 $60 \times 4$ を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ	小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解している	5A (3)イ				92.0	1.0	◎ P.38
	2 (1)	$123 \times 52$ を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	3A (3)イ				82.4	-2.8	◎ 下P.90
	2 (2)	$10.3 + 4$ を計算する	小数と整数の加法の計算をすることができる	4A (5)イ				78.2	-1.5	◎ 上P.89
	2 (3)	$6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4A (5)ウ			4D (2)ア	58.0	-2.6	◎ 上P.89 95 ◎ 下P.39
	2 (4)	$5 \div 9$ の商を分数で表す	商を分数で表すことができる	5A (4)イ				70.0	0.8	◎ P.156
	3	8と12の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5A (1)イ				85.6	-0.6	◎ P.94
	4	重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ	任意単位による測定について理解している		1B (1)アイ 3B (1)イ			69.3	-1.4	◎ P.74 78 ◎ 下P.34
	5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している				5B (1)ア	62.5	-4.5	◎ P.119 124 127
	6	円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している			5C (1)アウ		74.7	-0.8	◎ P.189
	7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	立方体の面と面の位置関係を理解している			4C (2)アイ		85.2	-1.5	◎ 下P.89 94
	8	はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	未知の数量を表す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことができる				3D (2)イ	83.7	0.1	◎ 下P.98
	9 (1)	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	資料を二次元表に分類整理することができる				4D (4)ア	84.4	-3.6	◎ 下P.59
	9 (2)	二次元表の合計欄に入る数を書く	資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる				4D (4)ア	57.1	-5.7	◎ 下P.59

【B問題】

調査区分	設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				正答率 (%)	愛知 — 全国	対応する教科書の 学年とページ
				数と 計算	量と 測定	図 形	数量 関係			
算数日	1 (1)	カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	示された条件を基に、適切な式を立てることができる	2A (2)ア				73.9	-2.1	◎ 上P.50
	1 (2)	示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す	示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる	2A (2)ア 5A (1)イ				81.7	-0.1	◎ 上P.50 ◎ P.94
	1 (3)	2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く	問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる	5A (1)イ			4D (2)イウ 5D (2)	36.0	-2.6	◎ 下P.80 ◎ P.94 208
	2 (1)	小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く	料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる	2A (2)ア 3A (2)イ 3A (3)イ			3D (3)	40.0	-0.4	◎ 上P.99 ◎ 上P.65 ◎ 下P.71 88
	2 (2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる	3A (4)ア 5A (1)イ				28.3	0.9	◎ 上P.16 103 108 ◎ P.94 99
	3 (1)	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができる		5B (3)ア		4D (2)ア	68.7	0.8	◎ 上P.95 ◎ P.139
	3 (2)	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる		5B (3)ア		4D (2)ア	34.4	8.3	◎ 上P.95 ◎ P.142
	4 (1)	示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ	示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる				4D (4)ア	37.3	-2.5	◎ 下P.59
	4 (2)	学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる				3D (3)ア 5D (4)	25.7	-3.6	◎ 下P.66 ◎ P.178
	5 (1)	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる				5D (3)	64.0	-1.0	◎ P.174
5 (2)	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる			3C (1)ウ	5D (3)	13.4	0.2	◎ 上P.34 ◎ P.174	

※ 設問と関係の深い単元の開始ページ (○ 数字は学年)

※ 網掛けは、全国との差が2ポイント以上、濃い網掛けは5ポイント以上ある設問

### (3) 算数の課題と改善の方向性

全国学力・学習状況調査の分析から改善のための方向性をまとめました。以下のポイント  
を参考にして、各市町村及び学校における課題の改善策を具体的に立案しましょう。また、  
別添の授業アドバイスシート等も活用して、授業改善を図りましょう。

#### 1 計算の順序について正しく理解し、その大切さに気付かせよう。

四則の混合した計算について課題が見られた。「 $6 + 0 \cdot 5 \times 2$ 」  
の設問の平均正答率は58.0%で、全国と比較して-8.6ポ  
イントと差が大きい。



- ① 式の意味を理解させ、計算の順序の必要性に気付かせましょう。
- ② 計算の順序の必要性に気付かせるための授業を構成しましょう。
- ③ 学びをその単元で終わらせるのではなく、継続的な反復練習を心がけましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校算数① 参照

<取組例>

- ・「正しい式に書き直そう」

#### 2 目的に応じて資料を分類整理させ、その表のよさに気付かせよう。

算数Aの設問9(2)「資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる」の平均正答率は57.1%で、全国と比較して-5.7ポイントと差が大きい。



- ① 児童自ら目的に応じた情報を収集し、整理分類する経験をさせましょう。
- ② 二次元表の分かりやすさに気付かせ、そのよさを実感させましょう。
- ③ 他教科や生活にも生かせるような場面の設定をしましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校算数② 参照

<取組例>

- ・「より分かりやすい表に作りかえよう」

#### 3 二つの数量の関係を見だし、数のおもしろさを実感させよう。

算数Bの設問1(3)「問題に示された二つの数量関係を一般化して捉え、そのきまりを書く」の設問で、平均正答率は36.0%と低く、全国と比較しても-2.6ポイントと差がある。



- ① 情報を分類したり推測したりしながら、きまりを見つける経験をさせましょう。
- ② 見出したきまりの根拠を、図や式で表現して説明する場を設定しましょう。
- ③ 一般化したよさに気付かせ、このことが中学校へつながることを意識付けましょう。

#### 授業アドバイスシート

小学校算数③ 参照

<取組例>

- ・「きまりを言葉や式で表現しよう」